

平成 20 年 3 月 20 日発行
第 128 号

康寿診報

編集／発行 医療法人社団 康寿会 加藤内科医院

〒421-0301 静岡県榛原郡吉田町住吉 303-1

Tel : (0548) 32-0701 緊急用 : 090-1758-1712 Fax : (0548) 32-1280

「正しい決断を求めて⑤ - 保健医療会議・健康づくり推進協議会を行う意義は？ -」 —事前の対話、そして一つひとつの地道な訂正を—

先日、私は怒った。相手は吉田町の田村典彦町長と健康づくり課の課長に対してである。理由は簡単に言えば「でたらめな答弁」に対してである。でも、詳しく言えば違う。ここ半年以上、怒っても怒ってもわかってくれないので、ものすごく怒ってしまった。この出来事は、役所の人たちの間で格好の話題となるとともに、私自身にとっては、あらためて怒りについて考える大切な機会を与えてくれた。「人はなぜ怒るのか？」それは相手が理解できないからであり「何言ってるの？」「どうしてそういうことするの？」「信じられない」「あなたって人が、わからない」の増幅から、集約したら相手があまりにも「理解できない堅物」だからである。同時に、相手が自分を理解してくれないからである。

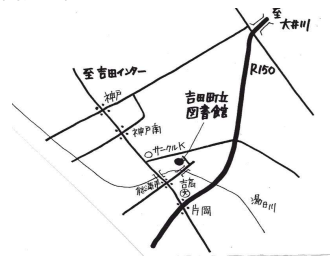
怒りの表現として「顔も見たくない」と人は言う。だが、実際のところ怒鳴っているときには、まだ相手の顔が見たいと思っている。伝えようとしているのは怒りの大きさであり、そこまでして怒るのは、相手が自分にとって必要であり、相手に何かを求めているからにほかならない。

2/25 夜、町内の医師・歯科医師が一同に召集され行われた「平成 19 年度第 2 回 吉田町保健医療会議」。医師会担当理事から事前に杉村課長に配布をお願いした両面刷り 3 枚の資料は配布されずに行われ、その後の説明も無い。我々医師団、特に歯科・小児科の先生から、差し迫った現場の状況・危機について、特に町長に対して多くの提言があった。

2/29 昼「平成 19 年度第 2 回吉田町健康づくり推進協議会」。この委員会は、会長である町長が委嘱した 15 名と事務局からなされ、医療関係としては私と 2 名の歯科医が出席した。「若返り貯筋塾」につき 4 点問うてみた。①昨年 10/15 に 14 万円以上を掛け A4 カラー印刷し一般新聞の折り込みにて案内を配布した件は「緊急性を要したから」②内容が伝わらなかったのではないかの問いには「住民の見方で違う」③¥2,500 の値段設定は「専門家と相談した上で問題なかった」④無料にした理由は「人が集まらなかったから」との課長の弁。最後には「町の裁量でやっていることで何の問題も無い」との町長の話。「高齢者の予防接種事業 肺炎球菌ワクチン無料・インフルエンザのワクチン¥1,500 の料金 不釣合い」について「インフルエンザのワクチンの料金設定は旧榛原地区での取り決めなので簡単に変更することは出来ない」との弁。だが、既に島田市金谷地区(旧榛原郡)はすでに¥1,050 で実施中。さらに、この地域の医療破壊に拍車をかける「中学生までの医療費無料化」を地域の医師団・地域支援病院に全く理解を得ず、町の独断で行うことは何と説明するのか？ また、集団検診という形で全面的に町の特健康診査事業を請け負う榛原医師会の会長までもが、新聞報道で「特定健康診査の無料化」をはじめ知る状況は尋常ではない。町の会議に医療人を招集する意義は？ 事前の対話、そして一つひとつの地道な訂正が必要である。 加藤寿夫

— 第 76 回 睦会プログラム (仮) —

日時 平成 20 年 4 月 19 日(土)
場所 吉田町立図書館
受付 12 時 30 分～
開会 13 時～(15 時 30 分 終了予定)



「開会の言葉」 睦会会長 杉山富三男さん

〈第一部〉 13:00~14:00 司会 澤入奈美

- ① 「糖尿病治療現場の実情 - 栄養士の立場から食を考えて - 約 10 分」
管理栄養士 杉山晴子

- ② 「白内障・緑内障とはどんな病気 - 一般の眼の病気について - 約 50 分」
あきやま眼科院長・医師 秋山貴紀さん



— 休憩 約 10 分 —

〈第二部〉 14:10~15:30

司会 圓尾由美子

- ③ 「網膜症の実態と治療 - 糖尿病の眼の合併症について - 約 50 分」
いしだ眼科院長・医師 石田玲子さん

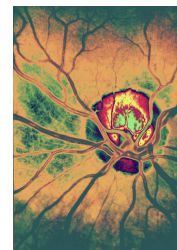
- ④ 「眼科手術時の内服薬の注意点 - 薬剤師より薬の知識について - 約 10 分」
榎はいやく 吉田薬局薬局長 皆川哲哉さん

- ⑤ 「特定健康診査・保健指導 - 4 月からのメタボリックの検診について - 約 10 分」
院長 加藤^{すみお}寿夫

- ⑥ 「吉田町の健康福祉について (仮題) 約 10 分」
吉田町町長 田村典彦さん

「総括」 前院長・元榛原医師会会長 加藤^{やすじ}康二

「閉会の言葉」 睦会代表 久保田豊さん



本会は、昭和 45 年より年 2 回開催にて、今回は 76 回目を迎えており、前回同様、加藤内科医院 糖尿病患者さんの会「睦会」主催、静岡県医師会・静岡県糖尿病協会・牧之原市・吉田町後援にて行う予定で現在申請中です。今回のメインの口演は、秋山貴紀先生・石田玲子先生 2 人の眼科専門医に「目の話」をお願いしております。また、吉田町で開業する医師として院長から、医師会の第 3 委員会に関与する立場 そして榛原医師会の吉田町担当理事として「メタボの検診」につき 10 分程で集約して話をさせていただきます。さらに、吉田町長 田村典彦さんにも、御自身のお考えを、我々の患者さんの前で話していただけるようお願いしております。ぜひ、参加して下さい。

〈特定健康診査・保健指導 - 4 月からのメタボリックの検診について -〉

4 月から新制度として始まる特定健康診査・保健指導（メタボの検診）。この実施に向けた取り組みのずぼらな状況は目に余るものがあり、未解決の問題・課題が山積している。今の状況では、この壮大なモデルケースはほとんど成果も無く、国そして厚労省はどこまでも「見直し」と云うであろうが、3 年以内に抜本的・本質的な改正が必要とされることになると思われます。

〈従来の基本健診(住民健診)と異なる点、問題点・疑問点〉

- ① 「**保険者に制度として義務化**」されたことにより、基本健診は住民に対してのものだったが、4 月からは国保に対しては市町村が対応するのに対し、社保に対して特にこの家族に対しては何の救済措置も取られないまま開始されようとしている。さらに、静岡市・志太地域をはじめ多くの地区では社保の保健指導について我々医療人に対して説明がなされたようであるが、吉田町では何の説明もなされていない状況である。
- ② 「**腎疾患・透析予防に対して無防備**」第 72 回の陸会(2006.4.16.)でお話した腎疾患・透析に対して全くの無防備である。今回のメタボの検診では、検尿・Cr (クレアチン)・BUN は検査項目から除外され無し。先日 3/7 静岡で開催された「CKD(慢性腎疾患)の対策の現状と今後の展開」の講演会で、浜松医大の腎臓内科専門の菱田明教授が、日本の腎臓病学会の重鎮として「世界で一番透析の多い我が国の検診で何を考えているんだ！」と一喝するのは当然と思われる。
- ③ 「**肝機能に対し無防備**」GOT・GPT・γ-GTP が検査項目から除外され無し。
- ④ 「**ガン検診は別制度**」縦割り行政の中、各種ガン検診は別の制度となり、当然 メタボ検診とは検診日が別の日となり、切り離して行われる。
- ⑤ 「**ECG(心電図)が原則除外、無し**」メタボの検診で大切な循環器の検査 ECG(心電図)、本来初回は最低限必要な検査とされ、多くの自治体は追加の検査項目として取り入れている状況であるが、吉田町では一般検査項目から除外され、チェックされない。
- ⑥ 「**保健指導についての実施内容・予定について具体的説明は皆無**」現在、受診率を上げることに躍起となり、一番大切な部分が十分な説明も成されずに放置された状況である。吉田町の医療行政に対する姿勢 小児の医療・肺炎球菌ワクチン・メタボの検診まで「何でもただただ無料」ではダメで「検診自体の質を上げることにお金を掛けよう！」とは考えられないものか？ 受診率を上げるには「健康体の人がこの検診を受ければ、一通りの、日本人の体質をわきまえた上での、スクリーニング的なチェックが行えますよ」と言えるような、究極的・本質的な検診を目指すような これを「町あるいはこの地域で独自で創ろう」という、そんな気概が持てないものか。「タダを売り物に受診者を増やそう」で無く、医療人と何の相談も無く独断で動く行政を改め、「質を重視する」こと。さらに、メタボの検診ということで本気であれば、何より「保健指導の重み、大切さを、しっかり住民に啓蒙すること」が必要ではないかと考える。

現在の状況で、内分泌代謝科・糖尿病の専門医として、あえて言いたいことは、

まずは「**ヘモグロビン A1c が 5.7 以上(空腹時血糖が 100 以上あるいは食後血糖が 140 以上)なら、まずは糖負荷試験(GTT)を施行**」すること。その上で「**必要に応じて医療・栄養指導**」を含めた保健指導を受け「**食事・運動の見直しを!!**」

本院での 1 月・7 月の原則第 3 土曜日の糖尿病の最初の勉強会「①糖尿病とはどんな病気？」では、この GTT の内容、意味するところ、貴方の今現在の糖代謝の状態を自分で把握していただく為の解説をしております。その上で、「自分の健康は自分で守る」気持ちを大切に、必要な医療・栄養指導を含めた保健指導を、自分から積極的に受け入れていただくことが必要です(本院では GTT の最中にこの DVD をご覧いただいております)。

これが、メタボの検診とくに糖尿病の早期診断・治療・予防に直結するのではないかと考えます。

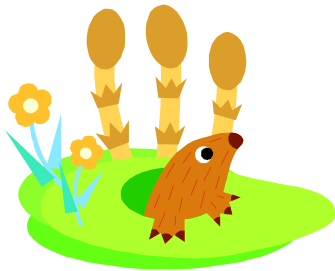
※何人かの本院受診中の患者さんに問われましたが、慢性疾患 特に糖尿病・高血圧・高脂血症等の生活習慣病で一般内科へ定期的に通院中の方であれば、今回のメタボの検診項目は、普段の日常診療の中で十分に網羅なされている内容であると思われます。疑問点等ありましたら、何なりと本院職員にお尋ねください。

今年の春 第 76 回 睦会 は、
4/19(土) 13:00 より
「目の話について」です。

場 所： 吉田町立図書館
受 付： 12 時 30 分～
開 会： 13 時～(15 時 30 分 終了予定)

4 月 19 日(土)	第 76 回睦会 ④糖尿病の合併症(目について)
5 月 17 日(土)	⑤運動療法について
6 月 21 日(土)	⑥インスリン療法について

☆通常の勉強会は原則第 3 土曜日 13:00 より行っております。



《診療案内》

診 療 時 間	月	火	水	木	金	土
8 時～12 時	○	○	○	○	○	○
15 時～18 時	○	○	○	△	○	△

休診日：日曜・祝日 木・土曜の午後 月末最終日[31(月)]の午後

※受付は 初診は 17:30 まで 再診は 17:45 までとなります。

☆毎月診療最終日は 午前の中のみの診療、午後は休診となります。

《花粉症の治療薬》



〈内服で用いる抗アレルギー剤〉

「振り分け型・バランス型」

タリオン OD ⑩ 2錠/2×1

または ジルテック⑤⑩ 1錠/1×1

「鼻閉型にも効果の強いもの」

アレロック⑤ 2錠/2×1

「眠気の弱いもの・無いもの」

エバステル OD ⑤⑩ 1錠/1×1

アレグラ (30) (90) 2錠/2×1

シングレア⑩ 1錠/1×1

〈鼻症状に対して局所的に〉

フルナーゼ点鼻 2回/2×1

または ペンブリン点鼻 4回/4×1

◎鼻閉症状がひどい時

トーク点鼻 随時屯用

〈眼症状に対して局所的に〉

クモロール点眼 4回/4×1

または パタノール点眼 4回/4×1

◎眼症状がひどい時

オドメール点眼 随時屯用

《臨時休診のお知らせ》 ※お薬を切らさないようにお気をつけ下さい。

4/28(月) は休診となります。

☆臨時休診は、数ヶ月前にお知らせします。確認の上で 受診をお願いします。

《「“チャオ” 御岳スノーリゾート ツアー」のご案内》

御岳山で、雪の中に立ちこもり、

戯れ・語り合いませんか!!

下記の日程にて、ツアーを企画しました。

ぜひ参加してください。

第③回 3/20(木)▼21(金)▼22(土)●23(日)

第④回 4/27(日)▼28(月)●29(火)

第⑤回 5/3(土)▼4(日)●5(月)▼6(火)



●：たかひら 民宿高平泊 ¥7,000 ▼：日和田ロッジ泊 ¥4,000
リフト券 1日券 ¥3,000 [大人] 車代：¥3,000
・夕食・朝食の食事代込みの料金、飲み放題です。
・小学生以下の子供さんの宿泊は半額、リフト券は無料です。
※詳細については職員までお問い合わせください、リゾート・宿泊・日程につきお話しします。